REPUTATION



NINJA 5 STAR

ストーリー

メガコーポレーションと呼ばれる超巨大企業が独立国家に匹敵するほどの力を持ちはじめた時、その最高責任者たちに奇妙な変化が訪れた。突如として全てががまらなくなったのである。 暇を持て余した彼らは気晴らしの為にお互いを敵対視し、攻撃し始めた。時には暴力も伴い、 民衆をすら巻き込む敵対的買収にも興じた。

しかしこれも次第に興ざめとなり別の暇つぶしを探し始めた。

幸運か不運か、そんなとき彼らに全く予想していなかった新たな脅威が訪れた。民衆の逆襲である。 抗争により破綻した企業から盗んだテクノロジーによって力を蓄えた反企業団体は国民の要望として 様々な公共事業への投資をメガコーポレーションに求めた。要求に応じない企業には暴力をも伴う あらゆる手を使い制裁を与えた。

「全ては国民のために!」と大義を掲げていた彼らであったが、理想はそう長くは続かない。

公共事業への入札制度を定めた彼らは、入札によって浮いた予算で様々な民間事業にも手を出しはじめ、メガコーポレーションとともに利益の確保に奔走し始めた。しかし、民衆は依然としてメガコーポレーションを敵対視し、公共事業への投資を怠る企業には私的制裁を続けていた。 国民を満足させられない企業の未来は暗いのであった...

ゲームの目的

貴方は毎年何兆円も稼ぐメガコーポレーションのCEO(最高経営責任者)です。利益追求のための 民間事業と国民の生活水準向上のための公共事業の両方に上手く投資して、企業イメージを高めつつ、 より高い利益を獲得しましょう。

ゲーム終了時、一番イメージの悪い企業は反企業団体から制裁を受け、あなたはCEOの座を追放され 敗北します。残った企業の中で一番利益を上げたCEOが勝利し、「エリート中のエリート」という栄誉を 受けることができます。

コンポーネント

民間プロジェクトカード 12枚



公共プロジェクトカード 12枚



- プロジェクトの名称です。民間プロジェクト カードは プロジェクト名の後ろが赤くなって いて **※** アイコンが表記されています。
- このプロジェクトのスポンサーになることで 下がる企業のレピュテーション(評判)を 表しています。詳しくはP.15「ゲームの終了」 を参照してください。
- プロジェクトの名称です。公共プロジェクト カードはプロジェクト名の後ろが緑になって いて / アイコンが表記されています。
- このプロジェクトが最初に割り当てられる クレジット(お金)の数です。
- このプロジェクトにビッドするのに必要な ワーカーの数です。詳しくはP.6「プロジェクト へのビッド」を参照してください。
- このプロジェクトのスポンサーになることで 上がる企業のレピュテーション(評判)を 表しています。詳しくはP.15「ゲームの終了」 を参照してください。

公共プロジェクトマーカー 1枚 スタートプレイヤーマーカー 1枚





コンポーネント

メガコーポレーションカード8枚



メガコーポレーションカードには ゲーム中に使える様々な特殊効果が 記載されています。特に制限されて いない限り自分の手番中にその効果 を使います。

CFOカードにはプレイヤーのアジェンダ (課題)が記載されています。枠内に 書かれている条件を達成する度に表記 されている枚数のレピュテーション チップを獲得します。

特に制限されていない限りゲーム中に 何度でも達成することができます。





プレイヤーボード 5枚



休憩エリア

ここに置かれているワーカーは休憩中 です。ビッドに使用できません。

HOエリア

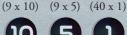
ビッド時にはこの枠内のワーカーを使用 します。詳しくはP.6「プロジェクトへの ビッド」を参照してください。

枠内の表はゲーム終了時に獲得できる クレジットとレピュテーションです。詳しくは P.15「ゲームの終了」を参照してください。

ワーカー 50個 (5色・各10個)

レピュテーションチップ 30枚

クレジットチップ 58枚











ゲームの準備

1. **コンポーネントを配る**: 各プレイヤーは好きな色のプレイヤーボードを選び、その色のワーカーを受け取ります。プレイ人数によって受け取るワーカーの数が異なります。

3人: 10個(全部)

4人: 9個 5人: 8個

- 2. 会社設立: CEOカード1枚とメガコーポレーションカード1枚を受け取ります。本ゲームを初めて遊ぶ場合は各カードの右上に表記されているマークが同じカードをペアとして受け取ってください。 全員がゲームに慣れたら好きな組み合わせで遊んでみてください。
- 3. **ワーカーの配置**: 受け取ったワーカーを全てプレイヤーボードのHQエリアに置いてください。
- 4. プロジェクトカードの配置:
 - プロジェクトカードを民間プロジェクトカードと公共プロジェクトカードに分けます。
 - 民間プロジェクトを良く混ぜ、10枚をウラ向きにしてプレイヤー全員から見える位置に置きます。
 - 公共プロジェクトを良く混ぜ、10枚をウラ向きにしてプレイヤー全員から見える位置に置きます。
 - •公共プロジェクトマーカーを公共プロジェクトカードの山札の横に置きます。
 - 使わなかったカードは全てオモテを見ないようにして箱に戻します。
- 5. 銀行を作る: クレジットチップを全てまとめて銀行とします。
- 6. **レピュテーションチップのサプライを作る**: レピュテーションチップを全てまとめてサプライを作ります。各プレイヤーがCEOのアジェンダを達成したときにこのサプライからチップを獲得します。
- 7. スタートプレイヤーを決める: 一番最近CEOと会話した(またはランダムに決めた)プレイヤーが スタートプレイヤーマーカーを受け取ります。
- 8. 余ったコンポーネントは全て箱に戻します。

ゲームの遊びかた

本ゲームは10ラウンドあり、各ラウンドには下記の7つのステップがあります。

- 1 ワーカーがプロジェクトから帰還
- 2. 新しいプロジェクトを開示
- 3. プロジェクトへのビッド
- 4 ビッドの勝者を決める

- 5 協替スポンサービッド
- 6. ワーカーをHOエリアに移動
- 7. 次のラウンドの準備

1. ワーカーがプロジェクトから帰環

全プレイヤーが同時に行います

↑ 最初のラウンドではスキップ

このステップではワーカーが最大3人まで休憩エリアに帰ってきます。下記の手順に従いワーカーを 各プロジェクトから1人空いている休憩エリアに移動してください。各移動はそれぞれ任意です。

- 1. プレイヤーボードの前にある民間プロジェクトカードの東から休憩エリアの直ん中のスペースに ワーカーを1人移動します。
- 2 自分と左隣のプレイヤーの間にある公共プロジェクトカードの東から休憩エリアの左のスペースに ワーカーを1人移動します。
- 3. 自分と右隣のプレイヤーの間にある公共プロジェクトカードの東から休憩エリアの右のスペースに ワーカーを1人移動します。



2. 新しいプロジェクトを開示

- ・プロジェクトカードの山札からカードを1枚めくりオモテ向きで山札の隣に置きます。
- ・公共プロジェクトカードに記載されているクレジット額を銀行からカードの隣に移動します。
- 公共プロジェクトマーカーをカードの隣に置きます。













3. プロジェクトへのビッド

全プレイヤーが順番にビッドを行います。手番はスタートプレイヤーから始まり、時計回りに進みます。

プロジェクトをスポンサーする権利を獲得するため、各プレイヤーはプロジェクトに**ビッド**(入札)します。 基本的に、民間プロジェクトは利益が高い反面レピュテーションを下げてしまいます。公共プロジェクトは レピュテーションが上がる代わりに利益が低いです。

自分の手番に下記の中から一つのアクションを選択し、行います。

- A. 民間プロジェクトにビッド: 競合する他プレイヤーより多くのワーカーを使いビッドします。
- B. 公共プロジェクトにビッド: 競合する他プレイヤーより安く仕事を請け負うことでビッドします。
- C.パス: パスを宣言し手番を終了します。いずれかのプロジェクトのリードビッダー(最高入札者)は 強制的にパスを選択することになります。

全てのプレイヤーが連続してパスするまでこのステップは続きます。

A. 民間プロジェクトにビッド

民間プロジェクトにビッドするには自分のHQエリアにあるワーカーを使います。 競合相手より多くのワーカーを割り当てることでプロジェクトの権利を勝ち取ります。

- 1. 現ラウンドでまだ誰もこのプロジェクトにビッドしていない場合は、1人以上のワーカーを使ってビッドしてください。もし他のプレイヤーがすでにビッドしていた場合は、そのプレイヤーより1人以上多いワーカーを使ってビッドしてください。
- 2. ビッドする数のワーカーを自分のHQエリアからプロジェクトカードの脇に移動します。手番 プレイヤーが新しいリードビッダーになります。
- 3. 競り負けたプレイヤーのワーカーはそのプレイヤーのHQエリアに戻します。



ラウンド中にだれも民間プロジェクトにビッドせずラウンドが終了した場合は、クレジットチップを銀行に戻し、カードも箱に戻します。

ヒント: このゲームではワーカーは非常に重要なリソースです。HQエリアにいるワーカーの数によってできることが制限される上に、プロジェクトに割り当てたワーカーが戻ってくるには数ラウンドかかります。 慎重にビッドしましょう!

B. 公共プロジェクトにビッド

公共プロジェクトにビッドするには自分のHQエリアにあるワーカーを2人か3人だけ使います。さらに、相手より安価でプロジェクトに入札するためにプロジェクトに割り当てられたクレジットから1クレジット以上民間プロジェクトに移動させる必要があります。

- 1. カードに記載されているワーカーの数だけ自分のHQエリアにあるワーカーを公共プロジェクトカード の脇に移動させます。前のプレイヤーより多くのワーカーを使う必要はありません。常にカードに 書かれているワーカー数だけ移動してください。
- 2. 公共プロジェクトに割り当てられているクレジットを**1クレジット以上**民間プロジェクトに移動します。 移動したクレジットは民間プロジェクトを競り落としたプレイヤーが受け取ります。手番プレイヤーが 新しいリードビッダーになります。
- 3. 競り負けたプレイヤーのワーカーはそのプレイヤーのHQエリアに戻します。



ラウンド中にだれも公共プロジェクトにビッドせずラウンドが終了した場合は、クレジットチップを銀行に戻し、カードも箱に戻します。また、このラウンドの「**協賛スポンサービッド**」のステップをスキップします。

ヒント: 最終的にゲームの勝者を決めるのは獲得クレジットの多さです。1クレジットを移動するという ことは自分と民間プロジェクトを競り落としたプレイヤーとの間に2点差が生じるということです!

C13

自分の手番をパスして相手の出方を探ります。

- 自分の手番をパスし、時計回りに次のプレイヤーに手番を移します。
- 手番が一周し、自分に手番が戻ってきたらまたいずれかのプロジェクトにビッドする機会があります。
- 各プロジェクトのリードビッダーは強制的にパスを選びます。
- 全てのプレイヤーが連続してパスを選択したら「プロジェクトへのビッド」ステップは終了します。

こしたんたん **ヒント:** 時には行動を起こさずに虎視眈々とベストタイミングを見計らうことも必要です。ただし、自分に 手番が戻ってくるかどうかは相手の行動によって決まるので、機会を逃さないように注意しましょう!

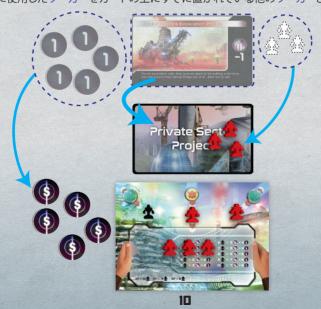
4. ビッドの勝者を決める

このステップは二つのプロジェクトのリードビッダーのみ行います。該当するプレイヤーは同時に下記の手順を行います。

各プロジェクトのビッドの勝者が決まります。それぞれのプレイヤーはプロジェクトにワーカーを割り当て、 報酬を受け取ります。

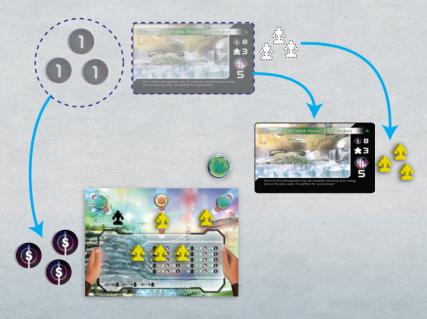
民間プロジェクトのビッドの勝者

- 1. カード脇にあるクレジットチップを全て受け取り、一枚ずつウラ向きにして金額がわからないようにして自分のプレイヤーボード脇に移動します。
- 2. 民間プロジェクトカードを**ウラ向き**にして自分のプレイヤーボードの前に置きます。 すでに他の民間プロジェクトカードがある場合はひとまとめの山札を作ります。
- 3. ビッドに使用したワーカーをカードの上にすでに置かれている他のワーカーと一緒に置きます。



公共プロジェクトのビッドの勝者

- 1. カード脇にあるクレジットチップを全て受け取り、一枚ずつウラ向きにして金額がわからないようにして自分のプレイヤーボード脇に移動します。
- 2. 公共プロジェクトカードをいったん自分の前にオモテ向きのまま移動します。 このカードはこの後のP.12「5. 協賛スポンサービッド」で再び利用します。
- 3. ビッドに使用したワーカーをカード脇に移動します。
- 4. 公共プロジェクトマーカーを受け取り自分のプレイヤーボードの近くに置きます。



5. 協賛スポンサービッド

このステップは公共プロジェクトを勝ち取ったプレイヤーとその左隣と右隣のプレイヤーで行います。 この3人のプレイヤーが下記の手順を行います。

公共プロジェクトを勝ち取ったプレイヤーの左隣と右隣のプレイヤーのいずれかは、協**賛スポンサー** としてプロジェクトに参加できます。協賛スポンサーになることでプロジェクトのレピュテーションを 共有することができます。ビッドには自分のHQエリアにあるワーカーを使います。

- 1. 公共プロジェクトを勝ち取ったプレイヤーは公共プロジェクトマーカーを**左右どちらかの手の中**に持ちます。どちらの手に持つかによって左右どちらのプレイヤーを応援したいかを決めます。
- 2. 左隣と右隣のプレイヤーはそれぞれのHQエリアに何人のワーカーがいるかを宣言します。
- 3. 左隣と右隣のプレイヤーはそれぞれのHQエリアにいるワーカーを全て片方の手に握り、他の プレイヤーから見えないように隠します。そして任意の数のワーカーをもう片方の手に握り、その手を 相手にわかるように前に差し出します。
- 4. 3人のプレイヤーは一斉に手を開き、ワーカーをより多く握っていたプレイヤーが協賛スポンサーの 権利を勝ち取ります。

握っていたワーカーの数が同数の場合は、公共プロジェクトマーカーが左右どちらの手に握られていたかによって勝者を決めます。

- 左手に握られていた場合は左隣のプレイヤーが勝者です。
- 右手に握られていた場合は右隣のプレイヤーが勝者です。
- 5. **ビッドに使用しなかった**ワーカーは全てそれぞれのプレイヤーのHQエリアに戻します。 ビッドに負けたプレイヤーのワーカーは**ビッドに使用した分も含め**すべてHQエリアに戻します。

協賛スポンサービッドの勝者を決めた後の処理

- 公共プロジェクトのビッドの勝者と協賛スポンサービッドの勝者の間に公共プロジェクトカードを オモテ向きに置きます。すでに他のカードが置かれている場合は、新しいカードを一番下に置き、 少しずらしておくことでレピュテーション値が全員に見えるようにしてください。
- ビッドに使用したすべてのワーカーをひとまとめにしてカードの上に移動します。前のラウンドから ワーカーが残っている場合はすべてまとめて置いてください。



6. ワーカーをHQエリアに移動

1ラウンド休んでいたワーカーを休憩エリアからHQエリアに移動します。

・休憩エリアにいるワーカーを最大3体まで自分のHQエリアに移動します。 各ワーカーの移動は任意なので移動しなくてもいいです。



7. 次のラウンドの準備

- スタートプレイヤーマーカーを左隣のプレイヤーに渡します。
- これが10ラウンド目の場合はここでゲームが終了します。P.15「ゲームの終了」に進んでください。 それ以外の場合はP.5「1. ワーカーがプロジェクトから帰還」に戻り新しいラウンドを始めてください。

ゲームの終了

10ラウンドを終えたらゲームが終了し、全員で勝利判定を行います。 各プレイヤーは下記の手順をそれぞれ行います。

1. レピュテーションの集計

下記の手順で自分のレピュテーションを集計します。

- A. 自分のHQエリアにいるワーカーを数えます。まだ公共・民間プロジェクトカードの上に残っているワーカーは数えません。
- B. Aで数えたワーカーの数によって獲得するレピュテーションが決まります。プレイヤーボードに記載されている表(右にも同じ表を記載)を参考にしてください。
- C. ゲーム中にCEOのアジェンダを達成して獲得したレピュテーション チップの数を数えます。
- D. 自分と**左隣のプレイヤー**との間にある公共プロジェクトカードの レピュテーション値の合計を計算します。
- E. 自分と右隣のプレイヤーとの間にある公共プロジェクトカードの レピュテーション値の合計を計算します。
- F. 自分が獲得した民間プロジェクトカードのレピュテーション値の 合計を自分のレピュテーション値の合計から**引き**ます。

2. レピュテーションが低いプレイヤーの脱落

3人または4人で遊んでいる場合:

レピュテーションが一番低いプレイヤーが脱落します。 レピュテーションが一番低いプレイヤーが2人以上いる場合は誰も脱落しません。

5人で遊んでいる場合:

レピュテーションが一番低いプレイヤー2人が脱落します。

レピュテーションが一番低いプレイヤーが3人以上いる場合は誰も脱落しません。

レピュテーションが2番目に低いプレイヤーが2人以上いる場合は一番低いプレイヤー1人だけが脱落します。

15

			
1-2	1		
3-4	2		
5-6	3		
7-8	5		
9-10	7		

3. 収入の計算

下記の手順で収入を計算します。

- A. 自分のHQエリアに残っているワーカーの数によって獲得する クレジットが決まります。プレイヤーボードに記載されている表 (右にも同じ表を記載)を参考にしてください。
- B. Aにゲーム中に獲得したクレジットチップの合計を足します。

	•
1	0
2-3	1
4-5	2
6-7	4
8-9	6
10	8

4. ゲームの勝者を決定

一番収入の多いプレイヤーがゲームに勝利します。同点の場合はよりレピュテーションが高い プレイヤーが勝利します。それでも同点の場合は勝利を分かち合いましょう。

勝利判定の例

		青プレイヤー	緑プレイヤー	赤プレイヤー	黄プレイヤー
ション	HQからのレピュテーション	3	2	2	3
	CEOのアジェンダ	4	6	4	3
1	公共プロジェクト	23	20	20	23
7 7 7	民間プロジェクト	-6	-6	-8	-4
	合計	24	22	18	25
クレジット	HQからのクレジット	4	2	2	2
	クレジットチップ	19	25	26	23
	合計	23	27	28	25

レピュテーションが一番低い赤プレイヤーは脱落します。 残ったプレイヤーの中で緑プレイヤーが一番クレジットの合計が高いのでゲームに勝利します。

補足・間違いやすいルールなど

ルール全般

- 各プレイヤーのゲーム開始時の所持クレジットは0です。
- 各プレイヤーの持っているクレジットチップの合計は非公開情報です。クレジットチップを裏面にして 額面が分からないようにしてください。
- 各プレイヤーの持っているワーカー数は公開情報です。HQエリアに残っているワーカー数を聞かれたら正直に答えてください。
- 民間プロジェクトカードを勝ち取りプレイヤーボードの前にウラ向きで置いたら、ゲーム終了までそのカードのオモテ面を見ることはできません。

ビッドのルール

- 公共プロジェクトにビッドするときは前のプレイヤーより多くのワーカーをビッドする必要はありません。常にカードに書かれている数のワーカーをビッドしてください。
- 民間プロジェクトにビッドするときは必ず前のプレイヤーより一人以上多くのワーカーをビッドしてください。
- ・誰も民間プロジェクトまたは公共プロジェクトにビッドせずにラウンドが終了した場合は、その プロジェクトに割り当てられたクレジットチップは全て銀行に戻し、カードも箱に戻してください。
- 誰も公共プロジェクトにビッドしなかった場合は協賛スポンサービッドのステップをスキップしてください。
- 公共プロジェクトカードにクレジットチップが一枚も残っていない場合は、それ以上そのプロジェクトに ビッドすることはできません。

メガコーポレーションカードとCEOカードのルール

- ・メガコーポレーションカードの特殊効果はゲームのルールに様々な変化をもたらします。ゲームルールと特殊効果の能力が矛盾する場合は特殊効果の能力が優先されます。
- メガコーポレーションカードの特殊効果は、特に記載されていない限り、一度しか使えません。
- CEOのアジェンダは、特に記載されていない限り、ゲーム中に何度も達成しレピュテーションチップを 獲得できます。

デザイナーからの一言

多くの国で、言語で、この作品を遊んでもらう機会を得ることができました。 Ninja Star Gamesをはじめ、このゲームに関わった全ての人に感謝しています! そして新たに手に取ってくれたあなたが、このゲームを楽しんでくれることを願っています。



ゲームデザイン: 梶野 柱 デベロッパー: ワンモアゲーム!、Ninja Star Games イラストレーター: Marco Primo 発行人: 小林 大

発行人: 小林大

スペシャルサンクス:プレイテストに協力してくれた方々、そしてKickstarterのバッカーの皆様

Tony Makos, Blue Rondo Games, Stephane Henry, Alex Duff, Gregg Kamei, Mike McWhirk, Joseph M Louis, Nicole Conway, Richard (Whowants2) Resnick, Rand L., Kenji Kaneshiro, Scott T Melvin, SirDoofimus, Ed & Jas, Matthew Stockton, Tom Bourguillon, pe=ga, Kentaro Sato, 若松 信雄, Andrew Ma "Vaga42Bond", Adam Kramer, Yosuke Otsuka, Rob Bone, 田井裕, Hinata Origuchi, Ayako aka Okan, William Suzuki, Hajime Sawai, Christopher "Kurioms" Bailey, あおきのこ, Kentaro Yazawa, Ryan Bell, Z É ガ 56, 佐藤淳平,Mark Gerrits, Jake Waltier, やまざきおさむ, 常時次人, MO, 左沢, りかち, Nwinda, Adrian Gomez, Karim Issa, kohta sagiyama, Shintaro Mori, North bear, see know, Chaeha

ほか大勢...

説明書の訂正などウェブサイトでフォローしますので、お手数ですが遊ぶ前に一度ご覧ください。



Copyright © 2022 Ninja Star Games, LLC. All rights reserved.

クイックガイド

本ゲームのラウンドの各ステップを簡単に説明するクイックガイドです。詳しくは本ルールブックの各ページを参照してください。

ステップ1. ワーカーがプロジェクトから帰還 (P.5)

各プロジェクトからワーカーが一人プレイヤーボードの休憩エリアに移動します。

ステップ2. 新しいプロジェクトを開示 (P.6)

プロジェクトの山札から新しいカードをオモテ向きにめくり、公共プロジェクトに記されたクレジットチップを配置します。

ステップ3. プロジェクトへのビッド (P.6)

A. 民間プロジェクトにビッド: 競合する他プレイヤーより多くのワーカーを使いビッドします。

B. 公共プロジェクトにビッド: 公共プロジェクトから民間プロジェクトに1クレジット以上移動することでビッドします。

C. パス: パスを宣言し手番を終了します。

全てのプレイヤーが連続してパスするまでこのステップは続きます。

ステップ4. ビッドの勝者を決める (P.10)

プロジェクトの勝者を決めます。勝者はプロジェクトに割り当てられたクレジットチップを獲得し、ビッドに使用したワーカーをプロジェクトに割り当てます。

ステップ5. 協賛スポンサービッド (P.12)

民間プロジェクトの勝者の左隣と右隣のプレイヤーは協賛スポンサーの権利を賭けてビッドを行います。

ステップ6. ワーカーをHQエリアに移動する (P.14)

1ラウンド休んでいたワーカーが休憩エリアからHQエリアに移動します。

ステップ7. 次のラウンドの準備 (P.14)

スタートプレイヤーマーカーを左隣のプレイヤーに渡します。ゲームは10ラウンドで終了です。